



職種連携 第6回

白山・美杉『顔の見える会』

今回のテーマ

住民参画型多職種連携で、
高齢者の希望にどこまで応えられるか？！

- ① 自宅で暮らしたい車椅子生活が必要な独居高齢者
- ② 地域で安心して暮らしていきたい認知症を患う独居高齢者
- ③ 終末期のがん患者さんの思い

～あなたの経験を生かしたアドバイスを求む！～



日時◆ 平成27年11月8日(日)10:00～11:30

場所◆ 美杉総合文化センター(美杉総合支所)

内容◆ 保健・医療・福祉の専門職と地域住民が連携した支援策検討

～「見え検マップ」を使って

見える事例検討をしよう～

「見え検マップ」って？

事例検討で扱う情報をわかりやすく整理し、検討していくツールです。一枚のマップに整理していくことで、支援困難な要因に対して解決の糸口が見えてきます。

「白山・美杉 顔の見える会」は、この地域で活動する保健・医療・福祉に関わる職員が、高齢化が進んでも安心して暮らしていける地域を目指すために、お互いに顔の見える関係になって連携しようと立ち上げた団体です。

四半期ごとに、事例検討会や講演会などを開催し、地域住民の方々とも連携しながら、人の絆を活かして暮らしを守っていく取り組みを進めています。

いっしょに考えていただけませんか？ぜひ、ご参加ください。



参加費◆ 100円〔当日、受付にてお支払いください。〕

お申込み◆ 不要(多数のご参加をお待ちしております。)

お問い合わせ先◆ 県立一志病院 運営調整部 井端 (TEL 262-0600)

本会は地域を大切にされる方々がボランティア意志に基づく活動をおこなうものです。